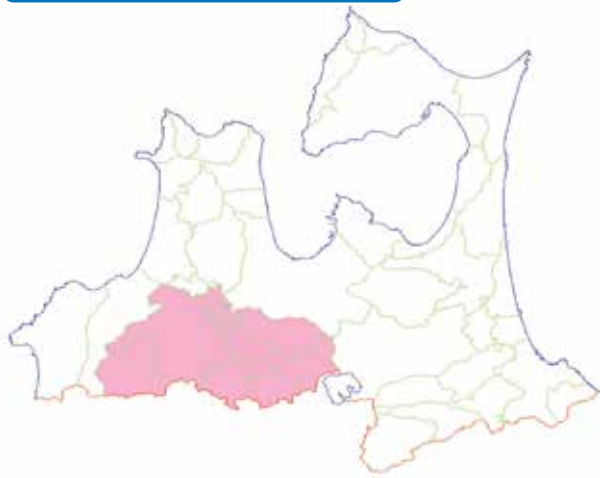


津軽地域保健医療圏

1. 圏域の現状

津軽地域保健医療圏の位置



【地勢等】

当地域の西部には、秀峰岩木山が、東部には八甲田連峰、南部から秋田県境にかけては世界遺産に登録されている白神山地が眺望され、この白神山地に源を発する一級河川岩木川は、圏域の中央部を北上し、津軽平野を形成しながら、十三湖を経て日本海に流下しています。

気候は、概して夏が短く、12月下旬から3月中旬まで雪に覆われますが、冬期間の平野部での積雪深は1m前後であり、全国的にも有数の豪雪地帯といわれる青森県にあつては、比較的積雪が少なく、しかも優れた自然環境に恵まれた、四季の移り変わりが美しい地域です。

構成市町村	弘前市 黒石市 平川市 西目屋村 藤崎町 大鰐町 田舎館村 板柳町		
人口	290,633人	面積	1,598.22km ²
年齢3区分別人口	0-14歳	32,013人 (11.0%)	医療提供施設 (人口10万対)
	15-64歳	170,376人 (58.6%)	
	65歳-	88,244人 (30.4%)	
人口密度	181.8人/km ²		施設数 病院 22 (7.6) 診療所 227 (78.1) 歯科診療所 138 (47.4)
世帯数	108,572世帯		
1世帯当たり人口	2.7人		
人口動態	出生率 (人口千対)	6.5	医療従事者 (人口10万対)
	死亡率 (人口千対)	14.0	
	乳児死亡率 (出生千対)	3.2	
	死産率 (出産千対)	1.6	
医療完結率	入院：97.45%	平均在院日数	一般病床：18.7日 療養病床：123.2日
	外来：98.38%		
病床利用率	一般病床：70.0%		
	療養病床：87.1%		

2. 圏域において重点的に取り組む事項

(1) 救急医療体制の維持

住民に対して、「#8000 (小児救急でんわ相談)」、「Q助 (全国版救急受診アプリ)」などの普及を図るとともに、一次と二次救急医療の役割を周知し、病院群輪番制参加病院の負担軽減を図ります。

また、地域医療構想に基づく、国立病院機構弘前病院と弘前市立病院の再編統合計画を推進します。

【背景】

救急患者が病院群輪番制参加病院に集中し、二次救急医療体制を維持することが厳しくなっています。

また、救急患者の受け入れ先決定まで時間を要する事案の割合が、県平均を上回っています。

□病院群輪番制参加病院の受入救急患者数

圏域	当番日の救急患者数
津軽圏域（5機関）	21,246人
青森圏域（4機関）	13,360人
八戸圏域（6機関）	13,103人

□救急車の現場滞在時間30分以上の事案の占める割合

年	県平均	津軽
H24	1.6%	2.3%
H25	1.6%	2.1%
H26	2.2%	3.0%

〔青森県医療薬務課〕救急医療提供体制現況調べ（H27年度） 〔消防庁〕救急搬送における医療機関の受入状況等実態調

【これまでの取組及びその成果】

平成27年10月に弘前市急患診療所において休日外科診療が開始されたことにより、病院群輪番制の外科の受診者が、1日当たり5.9人減少しました。

（2）在宅医療の推進

在宅医療・介護連携のために市町村が実施する、医師会、歯科医師会、薬剤師会等関係団体との協議への支援や、県レベルの研修等により多職種連携の推進を図ります。また、在宅医療制度や介護保険制度の仕組みを周知し、地域住民の理解を深めます。

【背景】

病院、診療所、歯科診療所ともに在宅医療の取組は進んでいます。しかし、病院、診療所から実際に訪問診療を受けた患者や在宅死亡者は、それ程多くありません。

区分	津軽	八戸	青森	西北五	上十三	下北
在宅療養支援病院数	2	1	4	0	0	0
在宅療養支援診療所数	36	14	30	5	8	2
在宅看取りを実施している病院数	3	3	3	0	3	0
在宅看取りを実施している一般診療所数	17	11	10	2	4	0

在宅療養支援病院（1）～（3）、在宅療養支援診療所（1）～（3）の届出施設数（28.3.31）〔厚生労働省〕医療施設調査（H26年）

区分	津軽	八戸	青森	西北五	上十三	下北
病院、診療所から訪問診療を受けた患者数	12,050	14,764	15,558	1,249	5,696	2,716
在宅死亡者数	410	427	449	196	223	95

〔厚生労働省〕患者調査（H27年度） 〔厚生労働省〕人口動態調査（H27年）

区分	津軽	八戸	青森	西北五	上十三	下北
在宅診療を実施している 歯科診療所数	患者宅へ訪問	39	36	30	6	29
	施設へ訪問	47	42	25	17	33

〔青森県医療薬務課〕青森県医療機能調査（H28年）

参考：患者宅及び施設への訪問歯科診療件数（弘前市歯科医師会集計）

H25年度782件 H26年度836件 H27年度867件 H28年度933件

【これまでの取組及びその成果】

平成27年度に医療・介護連携調整実証事業を実施し、「入退院調整ルールの手引き」を作成し、運用しました。これにより病院とケアマネジャーとの連携強化を図りました。また、多職種協働在宅医療モデル事業を平成26年度から実施し、これまで7チームが参加するなど多職種連携を推進しました。